

# Web Usability & Accessibility

14 JAWOCサイト



アクセシビリティ分析担当  
**濱田英雄**  
(株)ユーディット 主任研究員  
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当  
**石田直子**  
(株)ユーディット 研究員  
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット  
URL <http://www.udit-jp.com>  
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

## トップページの情報量や画像処理など イエローカード続出のサイト

サッカーのW杯韓日大会開催まで残り1か月を切った。この世界的なスポーツイベントの日本の運営組織である、2002年FIFAワールドカップ日本組織委員会 (JAWOC)では、チケット販売案内、入場規定など大会に関するさまざまな情報をWebサイトで告知している。開催期間中はますます増えるであろうアクセスをいかにさばき、ユーザーの要求する情報をダイレクトにパスできるか。Webの「ユーザビリティ&アクセシビリティ」審判員、濱田・石田両氏がJAWOCサイトについて判定する。

### ユーザビリティがよくなる Webページの段組とは

Webサイトの画面で、右または左にナビゲーションのための列を設けているものがあります。先日インターネットで「トップ10サイトの比較検証」という記事が出ていました。訪問者数の多い上位10サイトでデザイン上での共通特徴があるか、調査を行ったものです。これらのサイトで左側にナビゲーションバーを設けているのは5つ、右側は2つ、左右の列を設けていないものは3つでした。

ナビゲーションエリアの列を画面の左右どちらに設定すべきかという話をよく耳にします。右に配置するとスクロールバーに近いので、マウス動作範囲は少なくなります。ただユーザーはページを左から右に見ていく習性があるので、コンテンツを示すナビゲーションは左側のほうが頭に入りやすくなります。

今回のJAWOCは左右にナビゲーションやリストが表示されている3段組の構造になっています。3段組にするとWebページのスペースを効率的に使えますが、内容が多くなりすぎて見にくくなってしまいます。JAWOCではページのメインとなる真ん中のエリアが狭くなってしまっています。

ユーザビリティがよくなるWebテンプ

図1 トップページ



図2

商品名A	商品名B	商品名C
商品説明A	商品説明B	商品説明C

図3

商品名A	商品名B	商品名C
商品説明A	商品説明B	商品説明C

### ユーザビリティ総合評価 ★☆☆☆☆

一口コメント サッカーファンにとってこうした情報は役に立つものなのですが、作り手の情報発信意識が先立って、ユーザーに対する意識があまり感じられません。

### アクセシビリティ総合評価 ★☆☆☆☆

一口コメント リンクをする画像にALT属性が入っていないこと、音声ブラウザで読めないページがあったのがマイナスポイントとなりました。

レートというものはありません。使いやすいサイトは、結局ユーザーがサイトをどのように見るかを考えながら作られたサイトだと思います。

### ●「トップ10サイトの比較検証」

<http://japan.internet.com/webtutorial/20020313/1.html>

### レイアウトテーブルでの 音声ブラウザの読み上げ方

本来は表を作るための<table>タグですが、簡単に位置合わせができることから、レイアウトに利用されています。スタイルシートやブラウザの未対応から、ある程度は仕方ないと思いますが、音声ブラウザがテーブルを左上から右下に横に読まれることを理解していないと、せっかくの情報が正しく伝わらない可能性があるので注意が必要です。

以下に簡単な例を挙げますが、全体を<table>を使ってレイアウトしているときも同じですから、市販ツールで作られている方は、一度ご自分のページの<table>を非表示からborder="1"等の見える形にして、どのようなレイアウトテーブルになっているかを点検してみてください。

### 【テーブルの読み上げ例】

#### 悪い事例(図2)

このようなテーブルで作った場合の読み上げは、商品名A→同B→同C→商品説明A→同B→同Cの順に読まれてしまい、正しく情報が伝わりません。

#### 良い事例(図3)

このように作れば、商品名A→商品説明A→商品名B→商品説明B→商品名C→商品説明Cの正しい順番で読まれます。

※JAWOCサイトは4月10日にリニューアルされました。本誌掲載分はリニューアル前に調査したものです。

## ユーザビリティについて (解説/石田直子)

### ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★

ニュースリリースから、このサイトの目的はワールドカップに関するさまざまなニュースや主催行事などを伝えることとわかります。しかし、「チケット販売約款」や「ボランティア情報」など、タイトルだけではサイトの内容を特定しにくい項目が目に入り、目的が伝わりにくく思えます。トップページで情報のカテゴリ分けを行い、コンテンツをわかりやすくしていけば、サイトの目的が明確に伝わるはず。また、JAWOCについての説明が見当たりません。ワールドカップ関連サイトや組織はほかにもあるので、JAWOCやサイトの役割を明記しておくページがほしいところ。ユーザーが最初に訪れたときに、サイトの役割をきちんと伝えておけば、リピーター誘導にもつながります。

### 全体像がトップページで把握できること ★★

まず言えるのは、ページが長すぎることです。800×600のウィンドウサイズで見える部分はまさに氷山の一角。サイトのタイトルや開催日情報、最新ニュースなどはサイトの上部に見えるようにはなっていますが、では下の情報は重要度が低いのでしょうか。トップページでサイトの概略がわかるように、適度なページサイズで全体を見せることです。

### デザインや構成が統一されていること ★

トップページでニュースの文章を真ん中の列に配置しています。ある程度はやむを得ないでしょうが、ニュース部分が長すぎます。ニュースのように追加されていくテキストは、ある程度の長さになったら別のページへ移動するか、別のページを用意したほうが、画面の印象が崩れません。(図4)のボランティアのページは、トップページと同じように3段組ですが、適度な長さにまとまっており、すっきりとしています。

### 必要な情報が適切な場所にあること ★

両脇を固めるメニュー部分がだらだらと続き、項目を安易につけ足していったという印象がぬぐえません。トップページの内容はあらかじめ決めて、更新した内容などは別ページに配置していけば、ユーザーもどこに何があるかがわかるようになります。

### 次の動作がわかりやすいこと ★★

トップページ下部にある鎖のマーク(図5)は、どうやらリンクのカテゴリを示しているようです。鎖のマークをリンクと連想できる人がどれほどいるでしょうか。図形だけである物事を表現するのは非常に難しく、一般化された形でなければまず理解されません。鎖のマーク以外に、言葉でリンクのカテゴリであることを伝えてください。

### 予想されたフィードバックが返ってくること ★★

このページではリンク画像とリンクのない画像の違いがわかりません。リンクがされている場所は、ボタンの形状にしたり、リンクカラーの枠をつけたほうがよいでしょう。

「オフィシャルショップ」(図6)ですが、インターネット上で「ショップ」という言葉が出ると、どうしてもオンライン上での物品購入を連想してしまいます。ここではオンライン上での販売はなく、オフィシャルショップへの地図や住所を紹介しているだけです。トップページのリンクにある言葉を「全国のオフィシャルショップへのご案内」にして、オンラインではないことを表示しましょう。



図5



図6

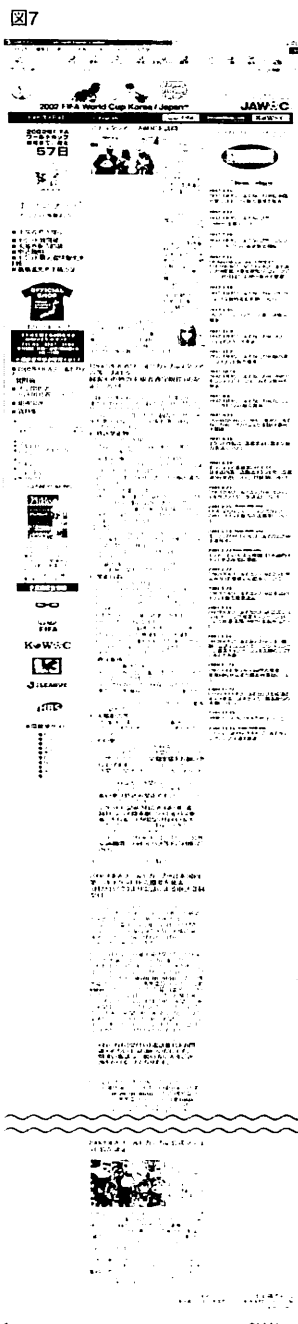
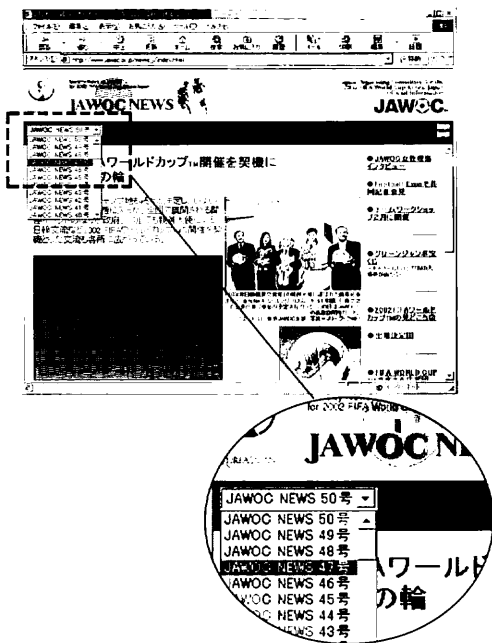


図7

## アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

図8



画像にはALT属性をつけること ★

ALT属性はつけられていません。

外国語の乱用はしないこと ★★

サイトの性格もありますが、かなり多くの英語や略号が使われています。画像などはALT属性をつけて補足してほしいと思います。

<title>タグは的確につけること ★★★

一部同じ<title>がついているところがあります。また、適切でない<title>もあります。

背景と文字色はコントラストがあること ★★★★★

トップページの背景画像と真ん中の文章の関係が多少見にくい気がしますが、概ねよいと思います。

フレームの使用は必要最小限にすること ★★

一部フレームが使われています。フレーム元ファイルのNOFRAMES要素には、音声やテキストブラウザに配慮して、フレームそれぞれのページに飛べるようにテキストリンクを入れましょう。

新しい技術には代替手段を用意すること ★

一部にフレームとFlashの組み合わせのページがあり、音声ブラウザでは内容が読めませんでした。

その他

[トップページ]

●1ページの内容量の問題(図7)

音声ブラウザ利用者にとって、サイトの内容量を判断することは難しいことです。多くの情報をトップに載せたい気持ちはわかりますが、「どこまで聞いたらほしい情報が出てくるのか」を考え、要領よく整理してページを作る必要があります。ここでは真ん中のお知らせの部分が異常に長く、15画面分くらいあります。3画面程度が限度だと思います。

●リンク画像のALT属性の問題(図7)

画像にALT属性がついていません。これは音声ブラウザだけでなく、画像が表示できない場合や、表示させない設定時に、画像の代替として表示されるものだから必ず入れてください。とくにリンクボタンの画像は、どこにリンクされるのかを入れる必要があります。音声ブラウザではALT属性がないと、リンク先のアドレスやファイル名を読み上げるため、どこに行くのかわからなくなります。

[JAWOC NEWSナビゲーション]

●プルダウン形式メニューの問題(図8)

マウス操作が困難な人の場合、キーボードだけで操作する場合があります。一般的にはあまり知られていませんが、Tabキーを押すことによって上から順にリンク先を選択でき、Enterキーでリンクできます。

ここにあるようなフォームを使ったプルダウン形式の選択メニューも、Tabキーと「↑↓」キーを使って操作が可能ですが、実行ボタンのない形式になると、矢印キーを押した時点でリンクされてしまいます。実行ボタンをつける形式に改める必要があります。

[情報変更手続方法]

●下線のつけ方の問題(図9)

このページの丸枠の文章に、強調のために下線がついています。一般的に下線がついているとリンクがあると錯覚させるので、別の方法で処理すべきでしょう。

[チケット販売の詳細]

●情報提供形式の問題(図10)

このページにはパンフレットをスキャンした画像が貼ってありますが、ALT属性もついていないので音声では何も情報が得られません。HTML化するか、少なくとも、要約したテキストページを用意する必要があります。また、この画面は文字がにじんで、とても読みにくくなっています。

図9

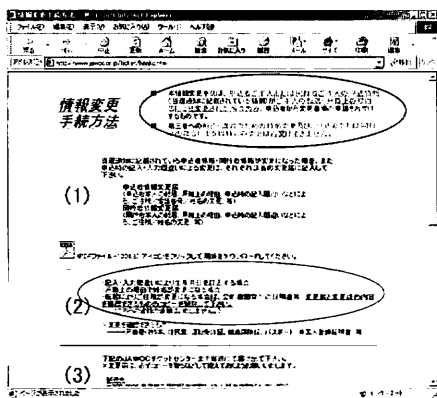


図10

